

## 海外安全対策情報（令和2年10～12月期）

### 1 治安情勢・一般犯罪の傾向

#### (1) NSW州

治安情勢は安定しており、新型コロナウイルスの感染拡大以降、住民の外出機会の減少からNSW州全体の犯罪発生率もほとんどの罪種で同等又は減少傾向にある。しかしながら、強姦事案について、特に一部地域で発生が増加しており注意を要する。

なお、麻薬密輸をはじめとした薬物犯罪の検挙は依然として増加傾向にある。

顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

##### ○シドニー地域

Blacktown：強姦（+36.3%）

Central Coast：強姦（+24.4%）

Sutherland：強姦（+49.4%）

○Murray：強姦（+23.9%）

○Southern Highlands and Shoalhaven：強姦（+53.5%）

#### (2) 北部準州

治安情勢は安定しており、犯罪の総数に大きな変動はない。しかしながら、窃盗、住居侵入等の所有権侵害犯罪は減少傾向にある一方（前年比-10.5%）、暴行・脅迫、性犯罪等の対人犯罪は増加傾向にあり（前年比+14.1%）、注意を要する。

### 2 邦人被害

シドニー市内において、気候変動問題を捉えたデモや黒人差別反対を訴えるBlack Lives Matterデモが行われている。これらのデモは過去に警官隊との衝突も発生しており、このようなデモを認知すれば、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

ここ最近において、シドニーでのテロの発生はないが、昨年中、シドニー中心部での大規模テロを計画していた男3人が逮捕されたほか、本年もインターネット上でテロを扇動していた男が逮捕されるなど、当地におけるテロの潜在的脅威は存在している。また、12月には、QLD州でIS（イスラム国）の影響を受けた男が隣人2名を殺害するテロ事件が発生しており、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

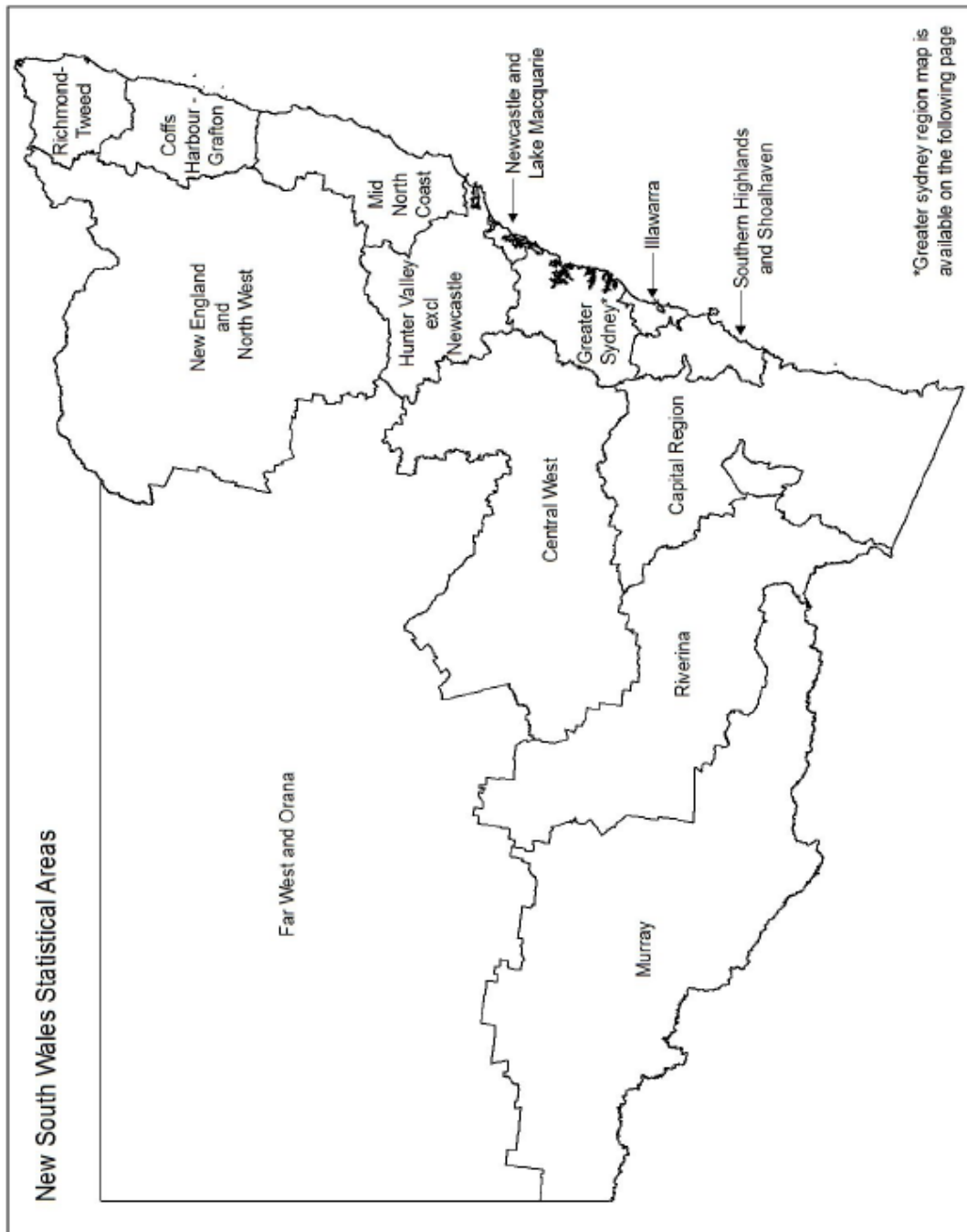
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

## 5 日本企業の安全に関わる諸問題

期間中の動向は見られなかったものの、昨年中、シドニー市内において、我が国に対する抗議デモが2件（慰安婦問題、反イルカ漁）行われており、これら団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2019年10月から2020年9月までの1年間（北部準州は2019年11月から2020年10月までの1年間）と前年同期との増減率）。

**APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS**



**APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS**

